

教育の充実

(単位:千円)

事業名	小・中学校非構造部材改修費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属		教育委員会	教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
587,812	193,562		339,600	35,000	19,650

<事業の概要>

学校施設は、子どもの学習・生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難所としての役割を果たすため、その安全性の確保は大変重要となっています。

このことから、小・中学校の非構造部材の耐震対策を推進するため、全小・中学校の体育館と武道場および草津小学校校舎等の改修工事を行うとともに、他の小中学校の校舎の非構造部材の点検調査および実施設計を行います。

【主な内容】

- ・全小・中学校体育館、武道場の非構造部材改修工事
- ・玉川中学校外壁補修工事
- ・草津小学校校舎の非構造部材改修工事
- ・校舎の非構造部材の点検調査および実施設計(小学校 2校、中学校 1校)

<事業の目的・効果>

非構造部材の耐震対策のための点検調査および改修工事を行うことにより、学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図ります。



現在の老上中学校体育館

主な経費

体育館および武道場改修工事	518,075
草津小学校改修工事	14,991
玉川中学校外壁補修工事	16,044
工事監理業務	20,928
点検調査および実施設計業務	17,774

教育の充実

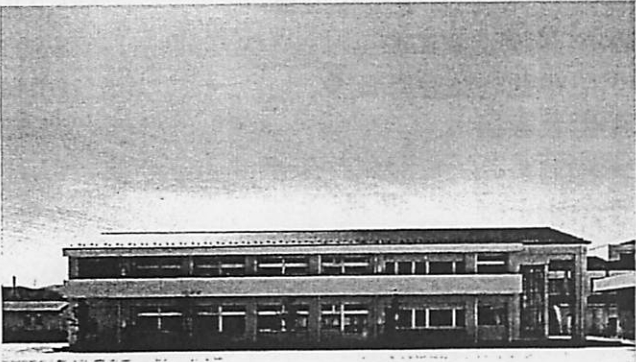
(単位:千円)

事業名	志津南小学校校舎増築費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会			教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
215,629	53,833		111,200	40,056	10,540

<事業の概要>
志津南小学校については、宅地開発等により、今後も児童数の増加が見込まれることから、増築工事を行います。

【主な内容】
・鉄筋コンクリート造り2階建て 約650㎡(普通教室 6教室)

<事業の目的・効果>
教室の不足が生じないように校舎の増築を行い、教育環境の充実を図ります。

 <p>平成24年度に増築した 志津南小学校校舎</p>	主な経費	
	増築工事	205,865
	工事監理業務	5,409

「人」が輝くまちへ

(単位:千円)

事業名	小・中学校大規模改造費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会			教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
725,015	110,268		382,800	199,183	32,764

<事業の概要>

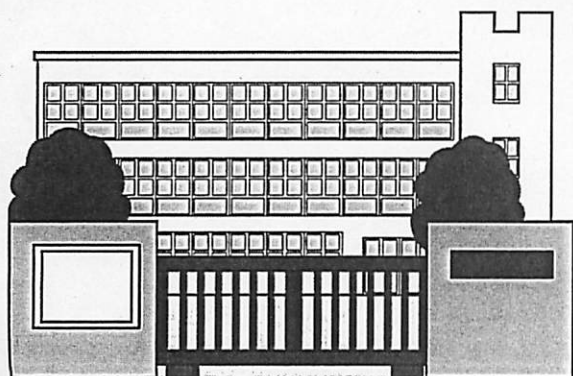
学校施設は、子どもたちの学習・生活の場であり、快適で十分な安全性を備えた施設環境を整えるため、建築後相当年数経過した校舎等学校施設の改修を計画的に実施いたします。

【主な内容】

- ・常盤小学校大規模改造2期工事(138,900千円)
体育館棟1階の特別教室の改修工事
- ・笠縫小学校体育館大規模改造他工事(178,435千円)
体育館の改修工事、トイレ改修(普通教室棟1階から3階)工事
- ・新堂中学校大規模改造2期工事(364,560千円)
普通教室棟の一部、管理・特別教室棟およびプール管理棟の改修工事
- ・老上小学校トイレ改修工事実施設計業務(1,897千円)
- ・松原中学校大規模改造工事実施設計業務(7,305千円)
- ・老上中学校大規模改造工事実施設計業務(10,185千円)

<事業の目的・効果>

学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図るとともに、施設の長寿命化を図ります。



主な経費

改修工事	681,895
工事監理業務	18,964
実施設計業務	19,387

「人」が輝くまちへ

(単位:千円)

事業名	草津中学校エレベーター設置費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属		教育委員会	教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
107,380	10,083		45,600	46,000	5,697

<事業の概要>

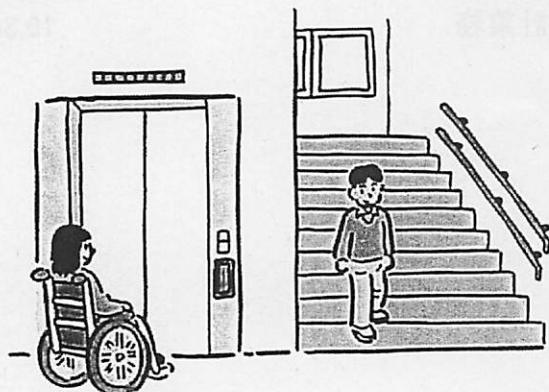
障害のある生徒等が安全で円滑に学校施設を利用できるよう、エレベーターの設置を行います。なお、今回の草津中学校の整備により、全小・中学校のエレベーターの整備が完了することとなります。

【主な内容】

- ・草津中学校エレベーター設置工事
エレベーター 2基設置工事他

<事業の目的・効果>

学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図ります。



主な経費

設置工事	102,956
工事監理業務	4,424

教育の充実

(単位:千円)

事業名	(仮称)老上第二小学校建設事業費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会			教育施設整備室	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,173,776	626,920		1,865,100	499,000	182,756

<事業の概要>

近年、活発な宅地開発により児童が急増している老上小学校(野路町)の教育環境の適正化を図るため、平成28年4月の開校を目指し小学校の分離・新設を進めます。
平成27年度は建設工事を進めるとともに、校名決定など開校に向けた準備を行います。

【敷地概要】

敷地位置:草津市矢橋町地先
敷地面積:約26,700㎡(敷地内、雨水幹線用地を含む。)

【建物概要】

建物構造:普通教室棟(木造)、管理・特別教室棟(鉄骨造[一部鉄筋コンクリート造])、
体育館棟(鉄筋コンクリート造[一部木造])、プール棟、その他外構(グラウンド等)

建物階数:地上2階建て、一部塔屋

建築面積:約6,200㎡

延床面積:約9,300㎡

建物高さ:12m程度

整備教室数:普通教室24教室、特別支援教室5教室、特別教室等10教室

新小学校の開校時の児童数(予定):705人(普通学級20学級、特別支援学級4学級)

現在の老上小学校(母体校)の児童数:1,071人(普通学級30学級、特別支援学級7学級)

【事業予定】

平成27年度:建設工事、開校準備

平成28年度:4月開校

<事業の目的・効果>

児童の学習と生活のための空間として、安全・安心で快適な教育施設環境の確保を図ります。

(イメージ図)



主な経費

小学校建設工事	2,992,484
小学校建設工事監理業務	47,905
開校準備費	132,963

教育の充実

(単位:千円)

事業名	教育情報化推進費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会			教育総務課・学校教育課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
163,764	4,000			10,175	149,589

<事業の概要>

子どもたちに「生きる力」(自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え判断し、解決しようとする資質や能力)を育むため、教育の情報化を進めます。

平成27年度は、中学校にタブレット型コンピュータを本格配備するとともに、ICT支援員を増員し、サポート体制を充実する等、必要な学習環境の整備と、ICTの特徴を生かした効果的な授業を推進し、子どもたちの主体的な学びの実現を図ります。

また、校務支援システムの導入等、校務の情報化による教職員の事務負担の軽減を図り、効率化により削減できた時間を子どもたちへの教育活動に向けることで、教育の質の向上を図ります。

【主な内容】

- 全中学校にタブレット型コンピュータを本格導入します。
 - ・3学級当たりタブレット型コンピュータ35台(総数約1,000台)を配備します。
 - ・コンピュータ室の端末をタブレット型コンピュータとして兼用可能なコンピュータに更新します。
- ICT支援員について、現行の2人から7人に増員し、学校へのサポート体制を強化します。
 - ※地方創生先行型事業として、平成26年度補正予算に計上
 - ・各学校のICT活用の支援や教材の開発等を行います。
 - ・授業や研修会等において子どもや教員をサポートします。
- 校務の情報化を推進し、教職員の事務、授業の準備等に係る負担を軽減します。【新規】
 - ・校務支援システムを導入し、名簿や出欠管理、通知表の作成等の業務をシステム化します。
 - ・教材共有システムを導入し、これまで各学校に蓄積された教材や学習指導案等を、全ての学校・教職員間で共有し、活用できる仕組みを構築します。
- 国の補助金を活用して遠隔授業システムを導入し、双方向型の遠隔通信授業を実施します。

【新規】

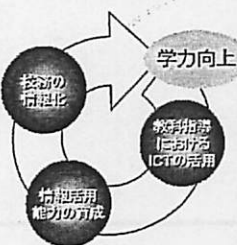
<事業の目的・効果>

- タブレット型コンピュータをはじめとするICT機器の特徴を最大限に生かし、「一斉指導による学び(一斉学習)」や、「子どもたち一人ひとりの能力や特性に応じた学び(個別学習)」、「子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学び(協働学習)」を推進し、子どもたちの思考力・判断力・表現力や主体的に学習に取り組む姿勢等を育成します。
- 校務や教科指導(教材等)に関する様々な情報を一元化し、学校間または教職員間で共有するシステムを構築することで、教職員の事務負担を軽減するとともに、効果的な教材や優れた学習指導案等を誰もが利用することが可能となり、教員全体の指導力向上や授業改善に繋がります。

平成27年度

「草津市教育情報化推進事業」

- 校務支援システム及び教材共有システムの導入、運用開始
- 市立全小中学校教育用コンピュータ児童生徒3人に1台以上の実現
(市立中学校にタブレットPC約1,000台を配備)
- ICT支援員7人を配置し、全小中学校を巡回支援
- 遠隔授業による学校教育創造事業 ～くさつ伝えるつながるプロジェクト～
(文部科学省「ICT自治体応援事業」に応募)



主な経費

<平成27年度当初予算> 拡大分

①中学校タブレット型コンピュータ導入費	19,696
②校務支援システム導入費	7,140
③教材共有システム導入費	1,275
④遠隔授業システム導入費	4,000

<平成26年度補正予算>

学校ICT支援員配置費	40,680
-------------	--------

「人」が輝くまちへ

(単位:千円)

事業名	図書館図書ICタグ導入費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 教育委員会			図書館・南草津図書館	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,580					13,580

＜事業の概要＞

ICタグの導入で図書資料のより適正な管理と、利用者への迅速なサービスの提供が可能となるよう、平成27年度から29年度にかけて、図書館が所蔵するすべての図書資料にICタグを貼り付けます。

【主な内容】

図書館・南草津図書館

- 新規購入図書資料のICタグ化
 - ・新規購入する図書資料にICタグを貼り付けます。
 - ・両館で年間約23,200冊
- 既存図書資料のICタグ化
 - ・今後、3か年で両館が所蔵する図書資料にICタグを貼り付けます。
 - ・両館で年間約156,000冊

【事業スケジュール】

- 平成27年度～29年度
- ・既存図書資料約468,000冊

＜事業の目的・効果＞

- ・ICタグの導入で、複数冊の図書資料の貸出・返却処理が一括処理でき、図書の適正な管理が行え、利用者のカウンターでの待ち時間の削減が図れます。また、職員についても、カウンター業務の効率化が可能となり、図書に関するレファレンス業務等、より専門的なサービスの提供が図れます。
- ・図書資料の点検作業が複数冊同時に行え、バーコード管理よりも適正な管理を行うことができます。



主な経費

新規図書資料ICタグ購入費	1,880
既設図書資料ICタグ化委託費	11,700

スポーツ健康づくりの推進

(単位:千円)

事業名	スポーツ振興計画(第2期)策定費			区分	新規
事業費	担当部局・所属教育委員会			スポーツ保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,302					4,302

<事業の概要>

平成23年4月に策定した「草津市スポーツ振興計画」については、平成23年度から平成32年度までの10年間に達成すべき目標を掲げており、この計画に基づき、これまでさまざまなスポーツ推進にかかる取組を行ってきました。

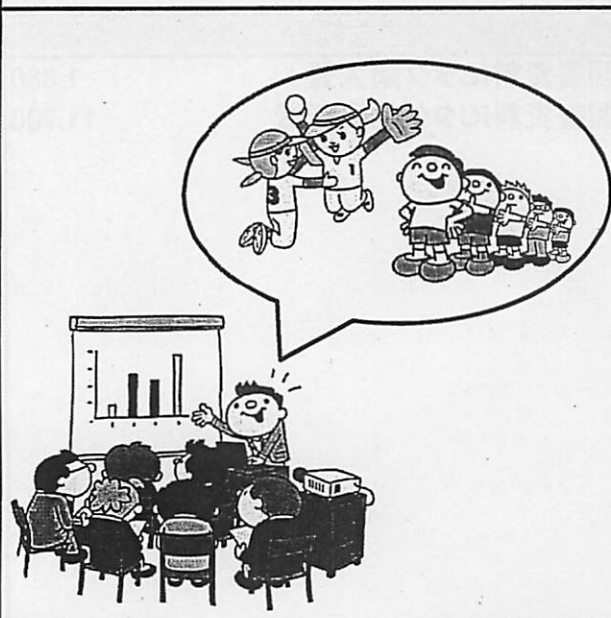
平成27年度は、この計画の前期5か年が終了し、これまでの取組の成果や課題を検証するとともに、市民意識調査等によりスポーツに対する市民の意向を把握し、社会情勢等の変化による新たな課題に対応するため、後期5か年に取り組みべきスポーツ推進の方向性や施策などを定めま

【策定スケジュール(予定)】

- 6月～ スポーツ推進審議会(5回開催予定)
- 7月 市民意識調査
- 8月 成果と課題の検証
- 9月 計画内容の検討
- 12月 パブリックコメント
- 3月 計画策定

<事業の目的・効果>

スポーツ振興計画の見直しを行い、新たな課題の把握とその解決に向けた具体的な施策を位置付けることにより、さらなるスポーツの推進を図るとともに、スポーツ振興計画の基本方針である、本市の総力をあげてスポーツ推進に取り組む「ALLくさつ」の実現と本市の特性やニーズを踏まえたスポーツ推進の「くさつモデル」の構築を目指します。



主な経費

スポーツ振興計画策定支援業務	4,000
スポーツ推進審議会運営費	302

「人」が輝くまちへ

(単位:千円)

事業名	三ツ池運動公園防球ネット整備費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 教育委員会			スポーツ保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
31,602				16,000	15,602

<事業の概要>

三ツ池運動公園に、防球ネットを設置し、施設の利用拡大を図ります。

【整備内容】

- ・高さ10m
- ・延長353m(内訳:北側90m、西側81m、南側98m、東側84m)

【事業スケジュール(予定)】

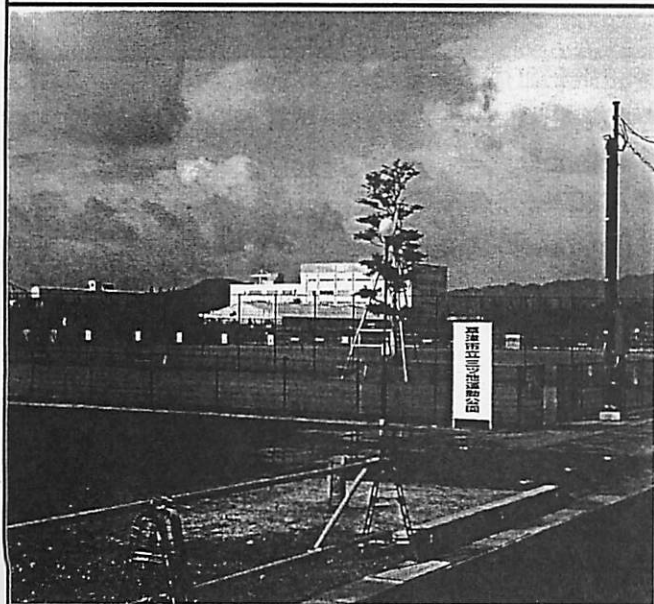
- 9月下旬 工事着工
- 11月下旬 工事完了

<事業の目的・効果>

三ツ池運動公園に防球ネットを設置することで、施設外にボールが飛び出ることがなくなるとともに、利用者の増加にもつなげることができます。

主な経費

防球ネット設置工事費	31,602
------------	--------



「人」が輝くまちへ

(単位:千円)

事業名	地域協働合校推進費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会事務局			生涯学習課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,746		3,010		175	4,561

<事業の概要>

地域協働合校は、家庭・学校・地域が連携し、学校や地域の行事などを子どもと大人が共に取り組むことで、学びあえる「共育ち」の場として、平成10年度から取組を進めています。

しかしながら、事業開始から16年を経過し、事業内容や支える人材の固定化などの課題もあります。

このことから、地域協働合校の取組をさらに活発化させるために、国・県の補助事業である「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動補助金」を活用し、地域のニーズ把握やマッチングなどを行う地域コーディネーターを取り入れ、円滑化を図ります。

<主な内容>

●市内小学校7校にコーディネーターを配置します。【新規】

各小、中学校推進組織と委託契約を行います(活動費)。うち、7小学校についてはコーディネーター配置費を上乗せします。

(コーディネーターの主な業務)

- ・学校、地域のニーズ把握と、学校、地域行事における活動の企画(田植え体験、昔遊び等)
- ・学校と地域の連携のためのコーディネート(地域での人材発掘、活動の場の提供等)

<補助金概要>

●1校あたりの経費

従来事業実施校 245千円(事業費:報償費、消耗品費、会議費、保険料、役務費)

コーディネーター配置校 645千円(事業費245千円+コーディネーター謝礼400千円)

<事業の目的・効果>

コーディネーターが、自身のネットワークや経験を生かし、学校の担当教諭と地域の支援者とのパイプ役となることで、学校のニーズ把握、地域の方の活動の場の提供や支援者の掘り起こしの拡大を図ります。さらに、地域の方の活動の場を提供し、子どもたちが豊かな学習の場を得ることで、ともに学びあう生涯学習社会の構築を図ります。

主な経費

小学校委託費(従来事業分)	3,185
小学校委託費(コーディネーター配置分)	2,800
中学校委託費	1,500
啓発パンフレット作成等経費	261

